



観光地のライブ映像を“ロボの目”で遠隔操縦 観光 DX でオーバーツーリズムに挑む新サービス「RoboVision」リリース

マルチベンダー・ロボプラットフォーム「ROBO-HI®」(ロボハイ®)やロボ開発を行う ROBO-HI 株式会社(東京都中央区、代表取締役社長:谷口 恒)は、遠隔操縦可能な PTZ(パン・チルト・ズーム)カメラを活用し、観光地の景色をリアルタイムで鑑賞できる新サービス「RoboVision(ロボビジョン)」を 2025 年 6 月にリリースいたします。

本サービスは、弊社が開発・展開するマルチベンダー・ロボプラットフォーム「ROBO-HI」と連携し、ユーザーがスマートフォンから自由にカメラを操縦します。現地に行かずとも観光地の風景を“自分の視点”で楽しめる、“距離を超えて心を動かす体験”を提供します。



<写真左 | RoboVision ロゴ / 写真右 | RoboVision アプリイメージ>

【RoboVision が目指す社会課題の解決】

RoboVision は観光における社会課題の解決を図ります。

オーバーツーリズムへの対応	バーチャル体験による人気の観光地の混雑緩和、観光客の分散化
地方観光地の再評価	知られざる絶景・観光資源を DX で活性化
観光体験の格差解消	高齢者や障がい者に加え、多言語対応により海外の利用者にも“その場にいる感動”を提供
観光 DX の推進	従来の集客型から「遠隔体験＋現地誘導」への転換

【“自分の目”のように動く。リアルを超える観光体験】

RoboVision に搭載された PTZ カメラは、上下 115 度・左右 360 度という広い視野角に加え、最大 25 倍の光学ズームを備えています。ユーザーはまるで、自分の目や首を動かすような感覚でカメラを遠隔操縦できます。この“ロボの目”は、単に現地の映像を映すだけでなく、リアルを超える新しい観光体験を実現します。RoboVision は、「ライブカメラ」や「VR 映像」とは違い、“視点”を自分でコントロールするからこそ、遠隔地でも「能動的な観光体験」が可能になります。つまり、現地に行けない人にとっての代替手段だけではなく、誰もがいつでも・どこでも全国の景色にアクセスできる新しい観光のかたちとなります。

主な機能と体験のポイント

直感的な遠隔操縦	スマホで上下左右・ズーム操縦。風景の細部まで意のままに探索可能
理想のアングル	気に入ったアングルを保存でき、次回以降ワンタップで再現可能
POI(Point of Interest)機能を用いた広告・予約機能	観光施設や名所の上にテキストで施設情報を重ねて表示。オプションでレストランやホテルの広告の掲載や予約サイトとの連動
オートガイド機能	システムがカメラの PTZ を自動制御し、おすすめの観光スポットを案内 現地での観光以上に“見どころを逃さない”体験が可能

	
スマートフォンから全国の景色を鑑賞	TV の大画面で楽しむ

【観光地の価値を最大化する、RoboVision 導入の 4 つの利点】

1. 低コストで、すぐに始められる

既存の観光資源に加えて、カメラの設置とクラウド型サービス ROBO-HI の導入だけで運用が可能です。運営やメンテナンスコストも低く、費用対効果に優れた新サービスの導入が可能です。

2. 静止画では伝わらない、地域の秘めた魅力をライブ発信

ライブ映像×自分の視点で操縦できる RoboVision は、四季折々の美しい景色はもちろん、フォトジェニックな早朝や夕暮れ、雨や嵐、雪など普段は見ることができない貴重な視覚体験ができ、新たな観光 PR 手段としてご活用いただけます。

3. 繁忙期に頼らない、効率的な観光ビジネス

オフシーズンなど、観光客が少ない時で、本サービスの利用者から新たな収益を得られます。また、病気や怪我、高齢、育児などで外出が困難な方でも利用できるのも、収益を多角化できます。

4. 来訪意欲を高める“もうひとつの体験”

遠隔操縦というユニーク性や“初めての視点”からの観光によってユーザーに驚きと感動を提供できるため、「行ってみたい」「また行きたい」といった顧客満足度の向上につながります。

【マルチベンダー・ロボプラットフォーム「ROBO-HI®」】

「ROBO-HI」は、ロボ単体だけでなく、ビル施設や街単位でロボを統合的に管理できるシステムです。ロボ、エレベーターなどの設備、各種業務システムと連携し、効率的なロボ運用が可能となります。また、ロボの位置や状態をリアルタイムで監視することができ、複数種、複数台のロボが混在する空間での群制御・群管理も担うため、ロボの業務最適化、費用対効果の向上が期待されています。

製品詳細 URL: <https://www.robo-hi.jp/robo-hi>

【ROBO-HI 株式会社】

「ロボを社会インフラにする」というビジョンのもと、創業以来培ってきた幅広いロボ技術・遠隔監視/制御技術を基に、世界中のロボが最大限の性能を発揮できるマルチベンダー・ロボプラットフォーム『ROBO-HI®(ロボハイ®)』をスマートシティ・スマートエアポート・スマートホスピタルへと全国展開しています。生活を豊かにするライフモビリティ『RakuRo®(ラクロ®)』、『DeliRo®(デリロ®)』、『PATORO®(パトロ®)』、空港や広い施設で活躍するインダストリアルモビリティ『RoboCar®(ロボカー®)』と『ROBO-HI®』との連携によって自動化、省力化に貢献してまいります。

本社: 東京都中央区晴海 1-8-8 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーW 棟 14F

代表取締役社長: 谷口 恒

HP: <https://www.robo-hi.jp/>

お問い合わせ WEB フォーム: <https://www.robo-hi.jp/contact>